

年 組 名前:

問1

ふえふきし いさわちょう ふえふきがわ  
笛吹市石和町の笛吹川で、

ふえふきがわいさわうかい はじ  
「笛吹川石和鵜飼」が始まりました。

うか ぜんこく ふえふきがわ  
この鵜飼いは、全国で笛吹川のみで

おこな でんとうぎよほう  
行われている伝統漁法です。

どのようなぎよほう  
ですか。

.....  
.....  
.....  
.....

問2

ほぞんかい うしやう み っ  
保存会の鵜匠は、なにを身に付けて

かわ はい  
川に入りますか。

.....  
.....

問3

がつはつか はじ ふえふきがわいさわうかい み なんようび なんじ い よ  
7月20日から始まった「笛吹川石和鵜飼」を見るには、何曜日の何時に行けば良いですか。

・曜日: ..... ・時間: ..... から ..... まで

かがり火が川面を照らす  
笛吹川で、鵜を操りアユ  
を捕らえる鵜匠  
|| 笛吹市石和町市部



QRコード  
から動画を  
見られます



### 笛吹川「徒歩鵜」始まる

笛吹市の夏の風物詩「笛吹川石和鵜飼」が20日、同市石和町市部の笛吹川で始まった。かがり火が川面を照らす中、鵜匠が巧みな手さばきで鵜を操りアユを捕らえる姿に、多くの観光客らが見入った。

市観光物産連盟によると、笛吹川の鵜飼いは、鵜匠が舟に乘らず川の中を歩いて鵜を操る「徒歩鵜」と呼ばれる伝統漁法。全国で笛吹川のみで行われているという。笛吹川石和鵜飼保存会が継承し、毎年夏に披露している。

この日は保存会の鵜匠が烏帽子や腰みのを身に付けて川に入り、笛吹高生がかがり火で手元を照らしながらアユを誘った。首に綱を付けた鵜を放し、見事アユを捕まえると、河川敷の客席から拍手が湧いた。鵜飼い後の約10分間、花火も上がった。

笛吹川石和鵜飼は8月18日まで水、木、土、日曜の午後8時から同8時50分まで行う。鵜飼い後は毎回花火が上がる。

〈土屋真佑子〉

(2024年7月21日付 山梨日日新聞 16面)